

内田 吉哉 (Yoshiya UCHIDA)

学位：博士（文学）

略歴：関西大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了

関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了

専門分野：日本史（都市文化史、非文字資料）、文化遺産学

研究課題：1. 非文字資料を用いた都市文化史研究

2. 愛知・尾張地域研究

3. デジタル人文学

【著書】

- ・『日本と世界の暮らし どこが同じ？どこがちがう？ 教科書に出てくる「暮らしの中の和と洋』』（共著、汐文社、2017年3月）
- ・『竹生島宝巖寺調査報告』（編著、関西大学大阪都市遺産研究センター、2015年2月）
- ・『「豊臣期大坂図屏風」の謎を解く』（単著、関西大学大阪都市遺産研究センター、2015年2月）
- ・『「牧村史陽氏旧蔵写真」目録』（共編著、関西大学大阪都市遺産研究センター、2014年3月）
- ・『新発見 豊臣期大坂図屏風』（共著、清文堂出版、2010年4月）

【論文】

- ・「高度経済成長期における犬山城下町の都市開発と文化資源的価値」（『愛知文教大学論叢』第22巻、2019年3月）
- ・「日本文化教育における動画コンテンツの活用 国立民族学博物館開発の可搬型ビデオテークを用いた事例」（『愛知文教大学教育研究』第9号、2019年3月）
- ・「地域史教育における地理情報の補足に関する試論」（『愛知文教大学論叢』第21巻、2018年11月）
- ・「高度経済成長期における復元・復興・模擬天守の歴史的役割に関する考察 — 模擬天守「小牧城」（小牧市歴史館）の事例を中心に —」（『愛知文教大学比較文化研究』第15号、2018年11月）
- ・「大阪市史編纂所所蔵の牧村史陽氏撮影写真について — 資料的価値の検討とデジタルアーカイブ化の手法 —」（大阪市史編纂所『大阪の歴史』第87号、2018年10月）
- ・「豊臣期大坂城南側の様相に関する試論 — エッゲンベルク城所蔵『豊臣期大坂図屏風』に描かれた景観から —」（大阪市史編纂所『大阪の歴史』86号、2015年7月）
- ・「牧村史陽の写真で見る大阪」（関西大学大阪都市遺産研究センター『大阪都市遺産研究』第5号、2015年3月）
- ・『「牧村史陽氏旧蔵写真」の研究とデジタルアーカイブ化』（関西大学博物館『阡陵』No.69、2014年9月）
- ・「消えた大阪、新しい大阪 — 『牧村史陽氏旧蔵写真』に見る大阪の都市景観 —」（関西大学大阪都市

遺産研究センター『大阪都市遺産研究』第4号、2014年3月)

- ・『豊臣期大坂図屏風』に描かれた景観の再検討(関西大学大阪都市遺産研究センター『大阪都市遺産研究』第3号、2013年3月)
- ・『豊臣期大坂図屏風』の人物と意匠(関西大学大阪都市遺産研究センター『大阪都市遺産研究』第3号、2013年3月)

【その他】

- ・「絵画を読む：非文字資料から読み解く歴史学」(愛知文教大学第4回図書館文化講座、於：愛知文教大学、2019年11月)
- ・「昭和の都市文化を考える — 写真・絵葉書のデジタルアーカイブから —」(川西市生涯学習短期大学、於：アステ川西、2018年11月)
- ・高大連携出張授業「『尾張名所図会』で読む小牧の歴史」(愛知県立小牧高等学校、2018年11月)
- ・「1960年代の日本 高度経済成長期の歴史的意義」(展示図録『国立民族学博物館開館40周年記念特別展 太陽の塔からみんなぱくへ — 70年万博収集資料』、2018年3月)
- ・「梅棹忠夫アーカイブズに見る収集団の奮闘録」(『月刊みんなぱく』第486号、2018年3月)
- ・「大阪の都市景観の変遷を探る」(『月刊みんなぱく』第485号、2018年2月)
- ・「戌年で絵馬でネコ」(『月刊みんなぱく』第484号、2018年1月)
- ・「大阪名所の今昔 — 浪花百景との対比 —」(川西市生涯学習短期大学、於：アステ川西、2017年11月)
- ・「水の都の風景 — 写真に残る堀川 —」(川西市生涯学習短期大学、於：アステ川西、2017年11月)
- ・「デジタル人文学はアナログの世界 — 写真資料のデジタル化研究から」(『みんなぱく e-news』190号、2017年4月)
- ・「土地に名を刻む」(『月刊みんなぱく』第470号、2016年11月)
- ・「写真資料のデジタル化とその地域研究における活用 — 昭和中期の大阪を撮影した写真資料による事例 —」(口頭発表、第273回みんなぱく研究懇談会、於：国立民族学博物館、2016年8月)